

安八町ガイドマップ

●役場の位置
北緯
35度20分07秒
東経
136度39分56秒
標高
海拔5.4メートル
●安八町の面積
18.16km²
町の木・もくせい
町の花・すいせん



1 結神社



2 町屋観音堂



4 むすぶテラス



5 安八温泉保養センター



6 牧村城址



7 安八百梅園



3 鎌倉街道・美濃路



10 ハートピア安八



11 出世の松



12 にぎわい広場



13 安八スマートIC



8 中須川千本桜



9 総合運動公園

安八町

ANPACHI TOWN_guide book

観光ガイドブック

発行／安八町
編集／安八町役場

〒503-0198 岐阜県安八郡安八町水取161番地
TEL:(0584)64-3111(代表) FAX:(0584)64-5014
HP <http://www.town.anpachi.gifu.jp>



— 若者や子どもたちを優しく包摂するまち —

Anpachi



ANPACHI
MUSUBU
TERASU

沿革

明治30年(1897年)の市町村合併により、名森村、牧村、結村の3村が誕生しました。昭和30年(1955年)には、名森村、牧村、結村の3村が合併し安八村となり、昭和35年(1960年)の町制施行により現在の「安八町」となりました。

位置・情勢

本町は、濃尾平野の北西部に位置し、揖斐川と長良川の一級河川に挟まれた南北約9km、東西約3kmの細長い地形であり、総面積は18.16km²です。

地勢は、海拔4~6mの平地となっています。

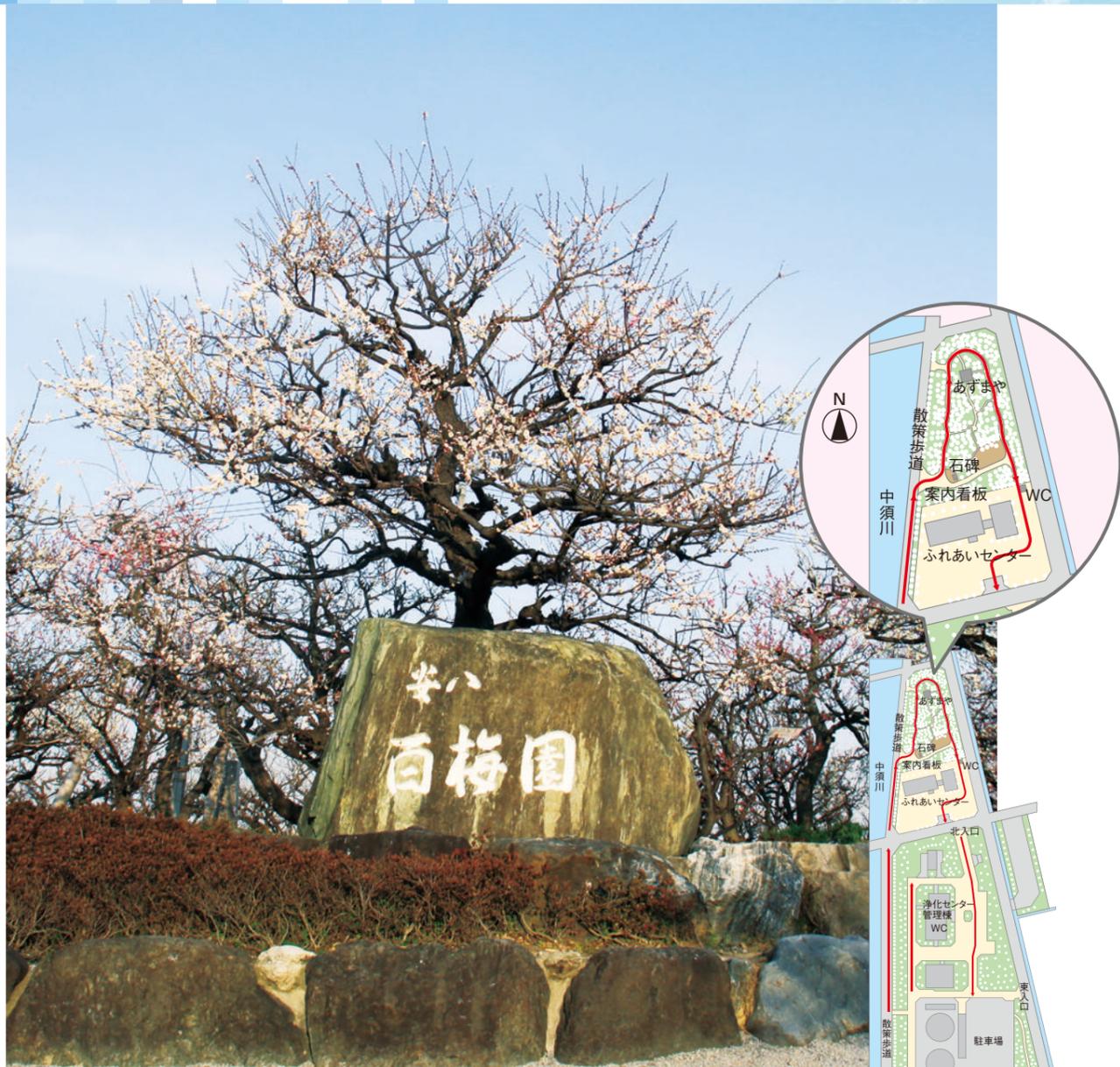
木曾三川からの流出土によって形成された沖積層からなっており、県下でも有数の肥沃な農耕地を形成しています。

県庁所在地の岐阜市と大垣市の県内2大都市に近接しているほか、名古屋市都市圏にも近く、名神高速道路直結の安ハスマートICで日本の大動脈と結ばれており、人・モノの流れの加速化に必要な地域として注目されています。



岐阜県

安八町



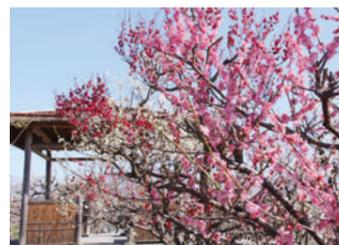
安八百梅園

ANPACHI_hyakubaien

品種の多さでは、全国屈指

平成10年(1998年)に開園した『安八百梅園』は、約3.9ヘクタールの敷地内に100種類以上、1,200本以上の実梅・花梅が植栽されています。『安八百梅園』の名称は、公募により「百種類以上の梅の香りと美しさを眺める園」という意味で名付けられました。開花時期は、早咲きの八重寒紅・玉牡丹などは1月下旬から、遅咲きの開運梅・淋子梅などは3月下旬というように、品種によっても開花時期が異なり長い期間にわたって梅を楽しめます。

また、毎年2月中旬から3月中旬まで『安八梅まつり』を開催し、県内外から多くの観光客が訪れ、梅の香りを楽しんでいます。



百梅園に植栽されている梅(品種)

早咲き 中咲き 遅咲き

紅梅

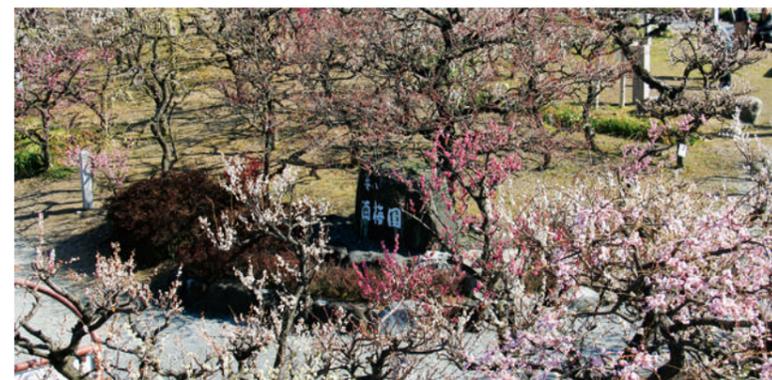
- 淡路枝垂(あわじだれ)
- 八重松島(やえまつしま)
- 浮牡丹(うきぼたん)
- 柳川枝垂(やながわしだれ)
- 栄冠(えいかん)
- 養老(ようろう)
- 鶯宿(おうしゆく)
- 淋子梅(りんしばい)
- 大盃(おおさかずき)
- 旭の海(あさひのうみ)
- 開運(かいうん)
- 旭牡丹(あさひぼたん)
- 鹿児島紅梅(かごしまべにうめ)
- 幾夜寝覚(いくよめざめ)
- 春日野(かすがの)
- 入日の海(いりひのうみ)
- 寒紅梅(かんこうばい)
- 大湊(おおみなと)
- 玉英(ぎょくえい)
- 寒衣(かんごろも)
- 呉羽枝垂(くれはしだれ)
- 記念(きねん)
- 黒田梅(くろだうめ)
- 玉光(ぎょくこう)
- 県鷲(けんきょう)
- 旭竜枝垂(きょくりゆうしだれ)
- 江南所無(こうなんしよむ)
- 月松(げっしょう)
- 紅峯(こうほう)
- 月世界(げっせかい)
- 故郷の錦(こきょうのにしき)
- 桜鏡(さくらかがみ)
- 黒龍梅(こくりゅうばい)
- 更紗梅(さらさうめ)
- 御所紅(ごしょべに)
- 小輪緋梅(しょうりんひばい)
- 桜梅(さくらばい)
- 蘇芳梅(すおうばい)
- 佐橋紅(さばしこう)
- 西王母(せいおうぼ)
- 鈴鹿の関(すずかのせき)
- 関守(せきもり)
- 内裏(だいり)
- 大輪緋梅(だいりんひばい)
- 高田豊後(たかだぶんご)
- 蝶千鳥(ちょうちどり)
- 筑紫紅(つくしこう)
- 蝶の花形(ちょうのはながた)
- 唐梅(とうばい)
- 縮緬紅梅(ちりめんこうばい)
- 難波紅(なにわこう)
- 朱鷺の舞(とぎのまい)
- 美化(びか)
- 塙の錦(とやでのにしき)
- 緋の司(ひのつかさ)
- 夏衣(なつごろも)
- 緋梅(ひばい)
- 日光梅(にっこうばい)
- 姫千鳥(ひめちどり)
- 一重唐梅(ひとえとうばい)
- 藤牡丹枝垂(ふじぼたんしだれ)
- 紅冬至(べにとうじ)
- 紅千鳥(べにちどり)
- 牧立山(まきたつやま)
- 紅鶴(べにつる)
- 無類絞り(むるいしぼり)
- 摩耶紅梅(まやこうばい)
- 桃園(ももぞの)
- 未開紅(みかいこう)
- 森の関(もりのせき)
- 道知辺(みちしるべ)
- 文殊(もんじゆ)
- 武蔵野(むさしの)
- 八重西王(やえせいおう)
- 夫婦紅梅(めおとこうばい)
- 八房(やつぶさ)
- 八重寒紅(やえかんこう)
- 楊貴妃(ようきひ)
- 八重唐梅(やえとうばい)
- 養老枝垂(ようろうしだれ)
- 八重豊後(やえぶんご)
- 蓮久(れんく)

白梅

- 稲積(いなづみ)
- 梓弓(あざぎゆみ)
- 金獅子(きんじし)
- 宇治の里(うじのさと)
- 月宮殿(げつきゆうでん)
- 雲竜(うんりゅう)
- 甲州小梅(こうしゅうこうめ)
- 黄金梅(おうごんばい)
- 麝香梅(じゃこうめ)
- 改良内田(かいりょううちだ)
- 白加賀(しろかが)
- 巖石野梅(いんせきやばい)
- 白難波(しろなんば)
- 鬼桂(きけい)
- 雪月花(せつげっか)
- 月知梅(げっちうめ)
- 玉牡丹(たまぼたん)
- 小梅(こうめ)
- 月影(つきかげ)
- 寿(ことぶき)
- 月影枝垂(つきかげしだれ)
- 白砂(しらす)
- 月の桂(つきのかつら)
- 白滝枝垂(しらたきしだれ)
- 酈懸(てっけん)
- 白八房梅(しろやつぶさうめ)
- 南高(なんこう)
- 新茶青(しんちゃせい)
- 梅郷(ばいごう)
- 水仙梅(すいせんばい)
- 白牡丹(はくぼたん)
- 筋入冬至(すじいりとうじ)
- 一重緑萼(ひとえりよくがく)
- 素白台閣(すはくたいかく)
- 風流(ふうりゅう)
- 泰平梅(たいへいばい)
- 紅先(べにさき)
- 高砂(たかさご)
- 紅映(べにさし)
- 茶青梅(ちゃせいばい)
- 明星(みょうじょう)
- 茶筌梅(ちゃせんばい)
- 米良(めら)
- 剣先(つるぎさき)
- 八重旭(やえあさひ)
- 常成(とこなり)
- 八重冬至(やえとうじ)
- 塙の鷹(とやでのたか)
- 八重緑萼(やえりよくがく)
- 文鳥(ぶんちょう)
- 竜峡小梅(りゅうきょうこうめ)
- 芳流閣(ほうりゅうかく)
- 龍眠枝垂(りゅうみんしだれ)
- 満月枝垂(まんげつしだれ)
- 緑萼枝垂(りよくがくしだれ)
- 夫婦枝垂(めおとしだれ)
- 青軸(あおじく)
- 琉芳(りゅうほう)

その他

- 一ノ谷(いちのたに)
- 筋入春日野(すじいりかすがの)
- 思いのまま(おもいのまま)
- 玉垣枝垂(たまがきしだれ)
- 大和牡丹(やまとぼたん)
- 司(つかさ)
- 日月(じつげつ)
- 冬至(とうじ)
- 乙女の袖(おとめのそで)
- 花座論(はなざろん)
- 銀覆輪(ぎんふくりん)
- 柳川絞り(やながわしぼり)



百梅園内風景





結神社

MUSUBU_jinja

縁結びの神

結神社は平安時代末期の嘉応年間(1169年頃)の創建で、一説には奈良時代よりやや古いとも言われ、古くは、結大明神と呼ばれていました。高御産靈尊・天御中主尊・神御産靈尊・猿田彦命が祀られており、産霊の神の「むすび」は生み出す、即ち生産の意味で、神代に初めてこの世の中のすべての物を産み、造り出し、また「むすぶ」はすべてのことをまとめる和合円満にとの意味です。従って、生産・増産の神、和合円満の神として崇拝されてきました。

なお、近年では、縁結びの神様としても広く知られ、縁むすびにちなんだ「赤い糸」等も販売され、好評を博しています。



結神社グッズ(赤い糸・お守り・絵馬)



結神社



安八郡結村郷社結神社絵図(明治30年頃) 養虫山人作 長母寺所蔵

鎌倉街道&美濃路

KAMAKURA_kaidou & MINOJI

鎌倉時代に開かれた道

源頼朝が鎌倉幕府を開いた今からおよそ800年前頃、京都と鎌倉の間の道が整備されました。京都から東山道を通って美濃の国に入り、不破郡から安八町町屋、墨俣町二ツ木を通り、上宿で長良川を渡って羽島市、尾張の国の黒田、下津などを経て東海道から、鎌倉へと通じています。この鎌倉街道は後に美濃路に変わりましたが、人や文化が生き交い、また人々の生活を支え育んできた『歴史の道』でもあります。現在、趣を生かし調和のとれた整備が試みられ、訪れた人々の憩いの場となっています。



町屋観音堂

照手姫の守り本尊であったという黄金仏は、一寸八分(約6cm)の小像で、町屋の観音堂に安置されている十一面観音菩薩像の頭に納められています。この照手姫ゆかりの十一面観世音菩薩は、縁結びの観音さまとして結神社とともに古くから人々に深く信仰されています。

伝説によれば、小栗判官との再会を願う照手姫は、守り本尊(黄金仏)のお告げにより結大明神(結神社)に7日間の願をかけました。結大明神は、その満願の日に黄金の守り本尊を当社に納めれば願いを叶えると告げました。照手姫は、願いが成就するのならと黄金の守り本尊を結大明神に献上しました。やがて、照手姫は小栗判官との再会することができたとの伝説が残っています。



まちあい公園



一里塚

アートのまち安八町

安八町の様々な場所に安八町出身のストリートアーティストにより寄贈された作品があります。作品を一目見ようと全国から多くの人々が安八町を訪れます。SNS映えするフォトスポットとして人気を集めています。



安八スマートIC

ANPACHI_smart inter change



ストリートアート

STREET_art

愛(Ai)のあるまち安八町(Anpachi)

令和3年(2021年)3月、安八町の「あんぱち」をローマ字で表した路上アートがにぎわい広場に設置されました。「愛のあるまち、安八町」ということで、頭文字の「A」と語尾の「i」を赤色にし、ハートマークを取り入れた、おしゃれなデザインとなっています。



にぎわい広場

NIGIWAI_hiroba

安八スマートIC

安八スマートICは、平成30年(2018年)3月24日に開通したETC専用のICとなっています。このスマートICにより、高速道路へのアクセス性が向上することで物流機能の効率化が図られ、既存企業の発展や企業誘致の促進にもなう雇用機会の拡大といった地域活性化に向けての支援が期待されるほか、揖斐川・長良川に挟まれた安八町周辺地域の通勤時間帯における渡河部への交通が分散することで、渋滞解消に効果的なものとなっています。

さらに、災害発生時における緊急避難経路の確保や渡河部へ集中する交通緩和など、迅速な復興支援が期待されています。



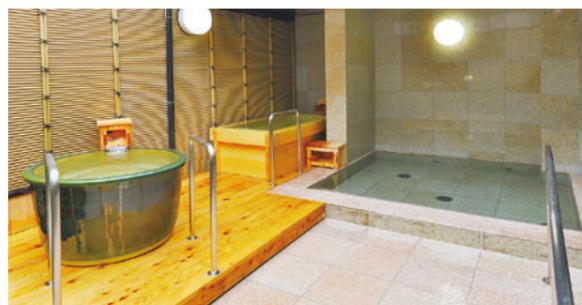
ラウンドアバウト



笑顔がわき出るまちのあったか 交流広場

約1,500メートルの地中を源泉とする当温泉は、ナトリウム塩化物温泉で、神経痛・筋肉痛・関節痛の緩和、疲労回復、健康増進に効果があります。

広々としたお風呂にゆったり浸かって心も体もリフレッシュ!



露天風呂 田圃の澄んだ空気を味わえる庭園露天風呂です。

温泉の概要

泉質 / ナトリウム塩化物(低張性・中性・低温泉)

効能 / 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりぎり、やけど、慢性皮膚病、慢性婦人病、虚弱児童、冷え性

安八温泉保養センター

ANPACHI_onsenhoyocenter



スポーツで健康寿命アップを!

安八温泉に隣接し、砂入り人工芝のコートで、ゲートボール・テニス・バレーボール・バドミントン・バタックなどの各種競技に利用できます。また、介護予防拠点として、安らぎとリフレッシュ、健康維持増進に役立ちます。



テニスコート

健康ふれあいドーム

KENKOU_fureaidome

安八町の特産品

〈安全・本物・自然〉

安八町では、豊富できれいな水と肥沃な土壌のもと、露地野菜の栽培が盛んです。また、これら旬の野菜を用いた特産品も販売しています。大根・なす・きゅうりなどを、甘酢や醤油に漬けた「あはちま漬」。長良・揖斐川の河原で自生したよぎの新芽、若葉を用いた「よぎうどん」。活力の源といわれる黒ごまの香ばしさがつまった「黒ごまうどん」。安八の大地で育った人参を練りこんだ栄養価の高い「人参うどん」。露地ほうれん草をたっぷり練りこんだ「ほうれん草うどん」や「野菜ケーキ」、「シフォンケーキ」。安八百梅園の梅干しを練りこんだ「百梅(うめ)うどん」。その他、百梅園で収穫された梅を用いた「梅びしお」や「百梅(うめ)ゼリー」、県立大垣桜高校の生徒とコラボした「うめ〜クッキー」も特産品として販売しています。

これらの特産品は、自然の素材を生かし、添加物・着色料は一切使用していないため安心してお召し上がりいただけます。

安八温泉内で常時販売している他、おんせん朝市や各種イベントで販売しています。



- ① よぎうどん
- ② 黒ごまうどん
- ③ 人参うどん
- ④ ほうれん草うどん
- ⑤ 百梅(うめ)うどん



- ⑥ あはちま漬(しょうゆ漬)
- ⑦ ぎゃらぶき
- ⑧ あはちま漬(甘酢漬)
- ⑨ 百梅(うめ)ゼリー
- ⑩ しその香り
- ⑪ 百梅(うめ)干し
- ⑫ 梅びしお





中須川千本桜

NAKAZUGAWA_senbonzakura

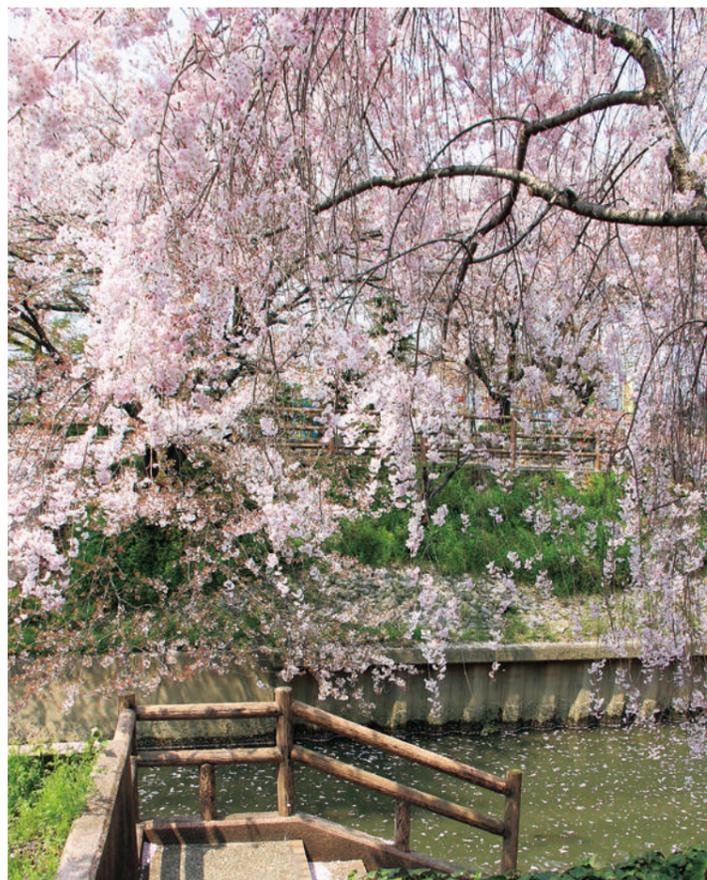
1,000本の桜並木

町の中心を流れる中須川の両岸には、約70年前から桜の木が植栽され、その本数は年々増え現在は延長3kmにわたり約1,000本の桜並木となっており「安八千本桜」とも呼ばれています。

並木道にはキャッスルパークやベンチなどがあり、訪れる方にゆっくりと流れる時間を感じていただけるよう配慮しています。また、開花時期の4月上旬にはさくら祭りも開催され、多くの人々で賑わいます。



さくら祭り



中須川堤

首実検と鎧掛けの松

永禄4年(1561年)、織田信長は西美濃を征服しようと、本郷村より長良川を渡って森部村に進出、斎藤龍興の軍と戦いました。斎藤軍6,000人に対し、織田軍は1,500人で対戦し、墨俣の下宿から押し寄せてきた斎藤軍を、信長は味方を三手に分け、敵をはさみうちにして破りました。

この戦いで、前田利家は、以前からの勘気を解かんと、一番に敵軍に討ち入り、首級二つ信長に差し出し、ようやく帰参を許されました。従って利家にとっては、後の加賀百万石の大大名になる出世の門出となる戦いでした。

斎藤軍の戦死者320人に対して、織田軍はわずかの死傷者で大勝利でした。その首実検をしたのが薬師堂前で、戦死者が祀られています。「鎧掛けの松」は首実検のおり、信長が鎧を掛けた松として伝えられています。



森部薬師堂



出世の松

SYUSSENO_matsu

山内一豊ゆかりの地

戦国時代、当地に小城があり、牧村牛之助政倫が居城していました。城址は、古記録に「村南にあり」とされているだけで、定かではありません。

一豊は、尾張国守護代、岩倉織田家の家老・山内盛豊の子として生まれました。永禄2年(1559年)、織田信長に攻められ、岩倉城は落城し、父と兄は討ち死にしました。一豊は、流浪の艱難の時、牧村城主・牧村政倫に身を寄せました。

一豊は、政倫が敵に襲われた時、水色の帷子鉢巻き姿で馬に乗って撃退するなどの武功をたてました。また、地道で誠実な人柄を高くかわれ、秀吉の家来になりました。その後、妻・千代の内助の功もあり、土佐24万石の大名にまで出世しました。

牧村城は、若き一豊が激動の中を過ごし、政倫や西美濃の諸武将から貴重な人生を生き抜く才知を学び、出世の足がかりとなったところでありました。

現在は、牧・円長寺に当時を記録する石碑が建てられています。



牧村城址

MAKIMURAJYOU_shi



生涯スポーツの拠点

総合運動公園には、体育館(アリーナ・柔剣道場)・野球場・サッカー場・テニスコート等が整備されており、生涯にわたりスポーツに親しんだ生活を送ることができます。アンヒルパークは総合運動公園に隣接し、小さな丘がある憩いの公園です。



アンヒルパーク



ハートピア安八

HEARTOPIA_anpachi

皆様の生涯学習を支援します。

図書館・児童館・天文台・歴史民俗資料館を備えた複合施設として、平成15年(2003年)3月に開館しました。

一部の講座受講や部屋貸しを除き、各館のご利用は原則無料です。



●図書館

“暮らしを豊かにする知的情報のスーパーマーケット”をキャッチフレーズにした図書館です。一般図書、児童図書、AV資料、郷土資料など、約14万点の蔵書、資料がご利用いただけます。



●児童館

木の巨人が迎える遊戯室、幼児用おもちゃ室、児童パソコンコーナーなどがある児童館です。幼児や児童生徒向けの各種教室や人形劇などのイベントも定期的に開催しています。



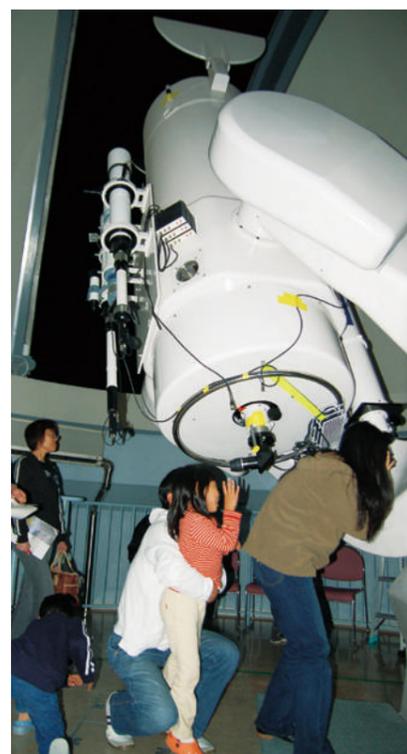
●歴史民俗資料館

ハイビジョンシアターを併設した郷土のくらしや歴史を紹介する資料館です。地域の先人や輪中での暮らしを紹介した常設展のほか、テーマを決めた企画展も定期的に開催しています。



●しあわせの泉

この泉は、地下約150mから汲み上げる天然水です。水の恵みを受けすべての人にしあわせになってほしいという願いを込め、公募により「しあわせの泉」と命名されました。



●天文台

東海圏でも有数の大きさを誇る口径700mmの反射望遠鏡が整備された天文台です。星見会や教室、ミニ展示などで宇宙を紹介しています。定員40名の小型プラネタリウムもあります。

総合運動公園

SOUGOU_undoukouen

結び、照らす 地域に開けたテレワーク施設

テレワーク化に向けて、フロアを「コミュニティスペース」・「コワーキングスペース」・「サテライトオフィス」の3つのエリアにゾーニングした企業と地域を結ぶ施設です。



むすぶテラス

MUSUBU_terasu



ANPACHI
MUSUBU
TERASU